

春の交通安全 県民総ぐるみ運動

4月10日(水)は
交通事故死ゼロ
を目指す日

令和5年度 宮城県交通安全
ポスター作文コンクール
ポスターの部 入賞作品



塩竈市立月見ヶ丘小学校2年
渡邊 涼太さん



富谷市立日吉台小学校3年
濱村くるみさん



名取市立相互台小学校5年
吉川 圭悟さん

令和6年4月6日(土)~4月15日(月)



宮城県
ホームページ



宮城県警察
ホームページ

宮城県・宮城県警察

県内の交通事故発生状況(令和5年中)

● 死亡事故が大幅に増加

令和5年中の交通死亡事故は44件47人で、前年と比べて+7件+10人と大幅に増加しました。

四輪車乗車中の死者は26人(前年比+18人)で、このうち約4割(42.3%)がシートベルト非着用でした。

● 交通事故死者の約4割が高齢者

65歳以上の高齢者が死亡する交通事故は19件19人で、死者の約4割(40.4%)を占めました。

また、交通死亡事故44件のうち約3割(31.8%)が高齢運転者によるものでした。

区分	発生件数	死亡事故		負傷者数			
		件数	死者数	重傷	軽傷	計	
本年	4,033	44	47	463	4,469	4,932	
前年	4,117	37	37	440	4,472	4,912	
増減	数	-84	7	10	23	-3	20
	率	-2.0	18.9	27.0	5.2	-0.1	0.4

横断歩道は歩行者が優先です ～挙げる手を やさしく見守る 横断歩道～

ドライバーは、信号機のない横断歩道では安全な速度で進行しながら歩行者の有無を確認します。

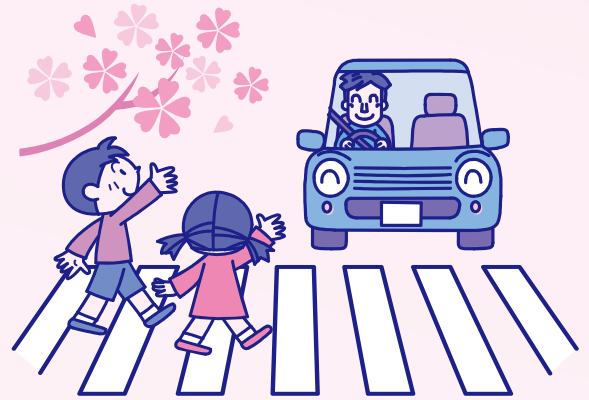
横断中または横断しようとする歩行者が近くにいるときは必ず一時停止しましょう。

～サイン・サンクス運動～



信号機のない横断歩道では…

- 手を挙げて **サイン(合図)** をして渡り、止まってくれた車には…
- あいさつ **サンクス(感謝)** をしましょう。



自転車のヘルメット着用が努力義務になりました ～身につけよう 交通ルールと ヘルメット～

- 過去5年間(令和元年～令和5年)の自転車乗車中の死傷者のうち、ヘルメットを着用していた人の割合はわずかに約8%にすぎず、ヘルメット非着用の死者は20人にのぼります。

- 令和5年に実施した自転車ヘルメット着用状況の全国調査で、宮城県のヘルメット着用率は10.8%と、全国平均(13.5%)を下回っています。



自転車安全利用5則

- 1 車道が原則、左側を通行 歩道は例外、歩行者を優先
- 2 交差点では信号と一時停止を守って、安全確認
- 3 夜間はライトを点灯
- 4 飲酒運転は禁止
- 5 ヘルメットを着用



飲酒運転はしない、させない、許さない! ～飲みません 今日私は私が ハンドルキーパー～

飲酒運転は犯罪です。

運転者だけでなく、飲酒運転するおそれのある人に車を貸したり、飲酒運転の車に同乗する行為も、飲酒運転を容認する悪質な違反となります。



ハンドルキーパー運動を広めて 飲酒運転根絶!

自動車仲間と飲食店などへ行く場合に、お酒を飲まない人を決め、その人が仲間を自宅まで送り届ける運動です。

